

若手研究者・大学院生の集い

JSA「夏の学校」2007 in 東京

～戦争・権力・科学者の役割～

主催：JSA「夏の学校」2007 実行委員会

<http://www.jsa-t.jp/wakate/summerschool/2007summerschool/index.html>

日時： 2007年9月27日(木)～9月30日(日)

宿泊： ふたき旅館

〒113-0033 東京都文京区本郷 6-6-3 03-3811-1841

東京メトロ丸の内線「本郷三丁目」駅より徒歩7分

集合： 13:30 @東京大学

東京メトロ丸の内線「本郷三丁目」駅、南北線「東大前」駅、千代田線「根津」駅から徒歩
集合場所となる教室までの行き方は、参加者に改めてお知らせします。

参加費：20,000円(宿泊費、フィールドワーク代、食事8回分込み)

集合時に現金で集めます。現地までの交通費が、上記とは別に必要です。各都道府県のJSA支部から旅費の援助がある場合がありますので、各県の支部にお問い合わせください(支部の連絡先がわからない場合は全国事務局が取り次ぎます)。

参加申し込み方法

同封の「参加申し込み用紙」に必要事項を記入の上、9月20日(木)までに下記アドレス(またはFAX番号)までEメール(またはFAX)でお申し込みください。企画の内容に関わるお問い合わせも下記で承ります。

日本科学者会議(JSA)全国事務局

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-15 茶州ビル 9F

: 03-3812-1472 Fax: 03-3813-2363 E-mail: mail@jsa.gr.jp

校長あいさつ

毎年恒例の JSA「夏の学校」、今年は東京での開催となりました。全国から院生・若手研究者が集い、幅広く社会問題について理解を深めるとともに、科学者の社会的な役割と責任を考えるという目的は今年も変わりません。

「戦後レジームからの脱却」を理念とし、「新憲法制定」を課題に掲げる安倍政権は、先の参議院選挙で国民から明確に「ノー」を突きつけられました。しかしながら、憲法を改定し、海外での柔軟な軍事展開を可能とするような国づくりの大きな動きが反転したとはいえません。昨年の「夏の学校」以降でいえば、防衛庁の「省」昇格と自衛隊の海外派遣の本来任務化、国民投票法の成立など、重大な制度的変化がすでに許されてきました。

戦争を自ら体験した人々が少なくなる中、軍事大国化をめざす勢力は、戦時下の歴史的事実を捏造し、戦争の国民的記憶を操作しようとしています。また、国家の暴力性が国民の共同性と混同させられ、子どもたちの自立と教育が、規律と統制によって置き換えられようとしています。「戦争を知らない」私たちがなすべきことは、戦争の記憶を語り継ぐ人・物・風景に耳を澄まし、戦争への想像力、未来への想像力を鍛えること、そして私たちの生きる世界のしくみを現実に即して明らかにし、過去の惨事を繰り返さないために社会へ働きかけることでしょう。

そうした努力を実りあるものとして継続することは、信頼できる仲間なしには困難です。この機会に、問題意識を共有する若手研究者・院生同士、さらには先輩たちと積極的に交流し、おおいに学び、語り合いましょう。

JSA「夏の学校」2007 校長

企画概要

9月27日(木)

午後 講演・学習会「NHK 番組改編事件を問う」

2001 年に NHK で放送された番組「問われる戦時性暴力」の内容が与党政治家との会合直後に改編されたことは、大きな社会問題となりました。介入したとされるのは安倍晋三や中川昭一といった現在の政権の中枢にいる人物であり、この問題は決して過去のものではありません。番組制作現場にどのような圧力が加わり、なにが改編されたのか。放送されなかった国際女性戦犯法廷の映像を観ながらこの事件を問い直します。講師は伊藤守氏(早稲田大・メディア学)、西野瑠美子氏(VOWW-NET ジャパン代表)。

夜 ポスターセッション

研究テーマを中心に自己紹介を行います。参加者は自分の研究テーマをポスター1枚にまとめたものをご持参ください(事前に出してもらおうレジュメだけでも大丈夫ですが、ポスターがあると好印象です！)

9月28日(金)

午前 NTT 技術史料館見学

NTT 技術史料館は、日本電信電話公社発足以降の半世紀を中心に、NTT グループの電気通信における技術開発の歴史的資産を系譜化・集大成しています。歴史の流れに即して技術と社会の関わりを大きくとらえる展示物や、技術分野ごとに技術発展の系譜を詳しく展開する展示物など、情報通信技術に関心がある研究者なら1ヶ月通っても通い足りないといわれる第1級の史料館です。一般には非公開のこの史料館を見学できるのはこの機会だけでしょう。解説は長田好弘氏(元 NTT 研究所員)。

午後 武蔵野の戦跡を歩く

戦時中は「一大軍需工業地帯」だった東京都武蔵野地域。なかでも武蔵野市にあった「中島飛行機武蔵製作所」は、零戦をはじめとする陸海軍の飛行機のエンジンを製造する日本有数の工場であり、米軍の空襲では、最重要の目標として繰り返し爆撃を受けました。いまでも武蔵野に残る戦跡を訪ねます。

夜 JSA 武蔵野通研分会「科学者・研究者の役割」講演 & 交流会

研究機関での理不尽な上司命令や思想排除を目的とする人格攻撃。NTT 武蔵野電気通信研究所の科学者たちは、科学者の権利と民主的な研究環境を求めて闘いぬいた歴史を持っています。研究者をめざすものとして、その権利と社会的役割を考えましょう。講演の後には、交流会もあります。

9月29日(土)

午前 靖国神社・遊就館フィールドワーク

過去の日本の侵略戦争を正義の戦争として肯定する靖国神社。企画ではまず事前学習会を行い、靖国神社の戦争観・歴史認識を学びつつ、「靖国派」によって占められる「安倍政権」が、いま日本をどこに導こうとしているのか考えます。その上で、靖国神社とその敷地内にある日本最大級の戦争博物館「遊就館」を実際に見学します。講師・ガイドは靖国神社研究で著名な一橋大学教授の吉田裕氏(日本近現代軍事史)。

午後 講演・学習会「東京都教育行政の実態」

東京都では石原都政のもと、行政による教育への介入や、現場の教員による民主的な討論の排除が加速的に進んでいます。そうしたなか、卒業式・入学式において君が代不起立・不伴奏を貫く教員たちに対する厳しい処分や、校長による恣意的な教員処分といった驚くべき事態が起こっています。都教育行政の暴走はどのような歴史的背景を持ち、何を意味しているのか。被処分者の方の体験談も聞きます。講師は荒井文昭氏(東京都立大・教育行政学)など。

夜 懇親会

フィールドワークや講演・学習会の感想交流も兼ねて、わいわい楽しみましょう！

9月30日(日)

午前 院生・若手交流企画 ～院生、楽ありゃ苦もあるさ～

毎年恒例の企画。リラックスした雰囲気の中、院生・若手研究者数名の体験談を聞いた後、ディスカッションを行います。研究生活の苦労とよきこびを共有しあい、みんなでスッキリしましょう！

以下は、「夏の学校」前日に東京院生 9 条の会主催で行われる講演会のお知らせです。

「夏の学校」とは直接には関係ありませんが、この機会に参加をおすすめします。なお、下記企画に参加を考えている方は、宿泊について JSA 全国事務局まで相談のメール(または FAX)をください。26 日夜の宿泊費がかからないよう工夫できるかもしれません。

東京院生 9 条の会主催・大日方純夫氏講演会のお知らせ

この度東京院生 9 条の会では、9 月 26 日(夏の学校前日)に、下記の通り講演会を行うことになりました。全国の大学院生の皆さんも、是非この機会にふるってご参加いただき、交流できればと思います。

大学院生分野における 9 条の会は全国的にも珍しいとのことですが、憲法 9 条の「改正」は、これからの学問をになう若手研究者にとって、決して他人事ではありません。「大学改革」の流れの中で国家による学問への介入が強まっている現状に鑑みれば、戦争遂行のために学術研究が動員されたり、規制されたりすることは容易に想定されるでしょう。

私たちは、「平和は学問の条件であり、目的である」を合い言葉にしています。憲法 9 条は、学問の自由な発展にとって大変優れた内容を持っていると思っていますからです。今回の講演会を機に、この思いを全国の大学院生と共有していけたらと思います。

東京院生 9 条の会

東京院生 9 条の会企画講演会

「歴史認識の共有のために

～三国共通歴史教材の試みで見えてきたもの～」

講師:大日方純夫氏(早稲田大学教授)

日時:2007年9月26日 14:30～

場所:一橋大学東キャンパス1号館3階1304教室

参加費:無料 講演会終了後、懇親会あり

問い合わせ先:東京院生九条の会

insei9@hotmail.co.jp

JSA「夏の学校」2007 参加申し込み用紙

以下に必要事項を記入して、9月20日(木)までにEメールまたはFAXでお申し込みください。
部分参加の方は、特記事項にその旨ご記入ください。企画の内容に関するお問い合わせも下記アドレスで受け付けます。

申し込み先:

日本科学者会議(JSA)全国事務局

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-15 茶州ビル 9F

: 03-3812-1472 Fax: 03-3813-2363 E-mail: mail@jsa.gr.jp

氏名(ふりがな)

性別

所属機関(院生の方は学年も)

専門分野(自分の研究分野を簡単にご紹介ください)

住所

メールアドレス

電話番号

特記事項(現地宿泊先がある方、部分参加を希望される方など)

部分参加の方の記入例:「28日午前～夜のみ参加(宿泊なし)」

その他ご要望(企画・運営に関する事など自由にお書きください)